

夏本番、熱中症に最大注意！

一気に気温が上がるこの季節、閉めきった室内は熱がこもりやすく非常に危険です。特に人間より暑さに弱いペットたちのお留守番時は、いつも以上に万全な室温管理を心がけてください。



夏の代表的トラブル

・熱中症:

犬猫は汗をかけず呼吸で熱を逃がすため、高温多湿な室内では短時間で高体温症に陥ります。よだれやふらつきは脳や内臓がダメージを受け始めている危険サインで、命に関わるため大至急の冷却と受診が必要です。

・肉球のやけど:

日中のアスファルトは60°C近くに達し、歩くだけで重度のはがれや水疱(やけど)を起こします。一度傷つくと再生に時間がかかり歩行困難や感染症のリスクが高まるため、散歩前の地面タッチでの確認が必須です。

・食欲不振・夏バテ

暑さによる自律神経の乱れから胃腸の動きが弱まり、消化機能や食欲が低下します。食事量が減ると水分摂取量も同時に減って脱水を起こしやすく、特にもともと腎臓が弱い高齢の子は持病悪化のトリガーになるため注意が必要です。



暑さ対策のポイント



エアコンは朝から稼働し、室温・湿度を一定に保ちましょう。

散歩は涼しい時間帯にし、アスファルトの温度チェックを忘れずに。

お水は複数箇所においてこまめに補給を。

冷感グッズや、氷を少量与えるなど工夫も有効です。

留守番時はエアコン+遮光カーテンで熱気を防ぎ、停電時対策として保冷剤の準備も安心です。

Animal Paradise

